

キャンパスにお帰りなさい！



アシジの聖フランシスコ (1182-1226)

北16条キャンパスの庭に立っている聖フランシスコ像です。

イタリア中部のアシジという街の裕福な商人の息子として生まれ育って、騎士に憧れながらも青年の時に回心して、清貧の中でキリストに徹底的に従う道を歩んだ聖人。

平和の聖人、環境保護の聖人とされ、現在の教皇は初めてこの聖人の名前を教皇名として選びました。



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ福音書15章5節)

5月から長いオンライン授業の期間を経て、今やっとキャンパスに来ることができるのを、皆さんはとても喜んでいらっしゃるでしょう。

学生の皆さんだけでなく、教職員一同も、学生のいないキャンパスは寂しいものだと感じていましたので、再び学生の皆さんの姿が溢れるキャンパスに戻って、非常に嬉しく思っています。

一年生の皆さんは、入学後初めて出会うクラスメートや先生たちと、できるだけ早く親しくなってくださいますように。

大学生活は、皆さんの人生の中で非常に大きな意味を持ちます。将来の職業選択だけではなく、自分の人生観を形成する上で大きな影響がある時期。人は何のために生まれ、何のために生きるのか、など、大きな問いに対する自分なりの考え方を身につける時期です。

高校生までは、どちらかといえば自分のことだけを考えて生きてきたかもしれません。しかし、大人になって社会に出ていくと、それでは全く足りません。人間として信頼される人格、人への寛容さが求められます。

これからの大学生活において、人のために生き、人の幸せのために働くことのできる人格形成の土台を、しっかり身につけてください。

カトリックセンターは、そのために少しばかりお手伝いをいたします。いくつかの機会を提供したいと思います。ユニセフなどの情報も提供いたします。生命尊重の考え方、キリスト教に関する基本的なことなどを学ぶ機会も設けたいと思います。関心のある方は、ご遠慮なくチャペル棟3階のカトリックセンターにお立ち寄りください。

毎月一度、北16条キャンパスの聖マリア聖堂で、マルクス学長によるミサを行いますので、自由にご参加ください。

10月16日は世界食糧デー

世界の食糧問題を考える日として国連が制定した日、それが毎年10月16日の世界食糧デーです。9月1日から10月31日までを世界食糧デー月間として、世界の食の問題を考え、様々なアクションを起こすよう促しています。食品ロス削減の取り組みが寄付となっており、途上国の休職支援に役立てられるゼロハンガーチャレンジなど、皆さんのできるがあります。(https://www.jawfp.org/)

聖書のことば：

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることはできない。また、ともし火をともした時、それをますの下に置く人はいない。燭台の上に置く。こうすれば、家の中のすべての人々のために輝く。このように、あなた方の光を人々の前に輝かしなさい。」 (マタイ5章14～16節)

地球の未来のために、安定した気候を回復させることが何よりも重要です。そのため、温室効果ガス削減に向けて、すべての国々がより思い切った削減目標を国として採用するよう求めます。

(教皇フランシスコのことば)

カトリックセンターについて

- ◇ 本学にはカトリックセンターがあります。北16条キャンパスのチャペル棟3FのLink Spaceの一角がそれです。
- ◇ センターの活動
本学の宗教行事、ほぼ毎月チャペルで行われる学長によるミサ、一年に1~2回開催する講演会・コンサートなどの実施などがあります。その他、折に触れて読書会や勉強会、DVD上映会なども企画したいと思います。
- ◇ カトリックセンター員
両キャンパスにいます。次の先生方と、他に職員が数名ずついます：
北16条：渡邊浩先生、勝西良典先生、松村良祐先生、山吉裕子先生
花川：阿部包先生、木村晶子先生
カトリックセンター長：シスター・永田淑子
- ◇ ボランティア・シスター
後期から北16条キャンパスのカトリックセンターに、シスターが一人、ボランティアとして週1回センターにいます。皆さんの相手になってくれますので、お気軽に声をかけてください。そのうちに勉強会・読書会など、そしてDVD上映会などを企画してくれるかもしれません。シスターの名前は〈高橋のあ〉さんです。
シスターの在室時間は次の通りです：
金曜日 13:30~16:30
10月からの在室になります。
どうぞよろしく願いいたします。
どなたでもお気軽にカトリックセンターにお立ち寄りください。

教皇フランシスコのTwitter



Pope Francis_@Pontifex

The destruction of the human environment is extremely serious, not only because God has entrusted the world to us, but because human life is itself a gift which must be defended.

Life is grounded in three fundamental and closely connected relationships: the Relationship with God, with our neighbour and with the earth.

We need to pursue a genuine fraternity based on our common origin from God. The desire for peace lies deep within the human heart, and we should not resign ourselves to seeking anything less than this.

ミサへのお誘い

聖マリア聖堂において、下記の通りマルクス学長司式によるミサを行いますので、どなたでもご参加ください。学生・教職員の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：

10月26日(月) 12:30~13:00

11月27日(金) 12:30~13:00

12月22日(火) 16:30~17:30(16条クリスマス)

12月23日(水) 16:30~17:30(花川・クリスマス)

なお、マスク着用をお願いいたします。

聖歌隊員の募集

本学では、聖マリア聖堂が完成したことを機に、聖歌隊を結成しました。学内の宗教行事に際して、美しい聖歌で花を添えていただいています。

歌うことの好きな方、ハーモニーを楽しみたい方、宗教音楽に興味のある方、など、多くのご参加を期待しています。

練習は原則週1回1時間程度。ご指導は藤中高の細貝則子先生です。



興味のある方は、学生課の鷲足までご連絡ください。

皆様、新型コロナウイルスに負けないように気を付けて、後期を頑張りましょう！